

アコモード

タイムズ 第44号



編集・発行
社会福祉法人 アコモード

- 特別養護老人ホーム アコモード
- アコモード指定居宅介護支援事業所
- アコモードヘルパーステーション
- アコモード指定訪問入浴介護事業所
- デイサービスセンター アコモード
- グループホーム アンダンテⅠ・Ⅱ
- ケアホーム アザレアⅠ・Ⅱ
- ケアホーム アヴァンセⅠ・Ⅱ
- ケアホーム アメリアⅠ・Ⅱ
- 特別養護老人ホーム アクイール
- デイサービスセンター アクイール
- キッズルーム アクイール
- アンジェリカ保育園
- 我孫子市老人福祉センターツツジ荘
- 我孫子市布佐・新木地区地域包括支援センター
- アコモード相談支援事業所

千葉県我孫子市布佐1559-2
Tel.04(7189)5201・Fax.04(7189)5203

「平成」最後の年に…

平成天皇の譲位により、今年で「平成」の時代が終ることになりました。政府の発表によると、皇位継承は四月三十日に行われ、五月一日から新しい元号になるとのこと。



今回、特養ホームで生活され
「平成」の名前の由来を調べ
ると、「内外、天地とも、平和が
達成される」という意味がある
ようですが、皆様はこの三十年
をどのように振り返られるで
しょうか。

「(改元は)テレビで見て知つて
いる。我孫子市へ嫁に来てから
六十年以上ここで暮らしてい
る。一番の出来事は、平成二十
六年頃、自宅で転んで骨折した
こと。初めての経験で大変だっ
た。これが特養に入居するきっ
かけになったんだと思う。」
(大正十四年生まれ九十三才女性)

「平成時代で一番の出来事はや
っぱり(東日本)地震。自宅の庭
で転んで怖かった。ただ、それ
で病院に行つたら別に脳腫瘍が

「平成の初めのころから、夫の
看病で大変だった。透析で通院
と入院を繰り返していた。そ
の後自分自身も倒れてしまつ
て…とにかく厳しい時代だっ
たと記憶している。」
(昭和十五年生まれ七十七才女性)

「(改元は)テレビで見て知つて
いる。我孫子市へ嫁に来てから
六十年以上ここで暮らしてい
る。一番の出来事は、平成二十
六年頃、自宅で転んで骨折した
こと。初めての経験で大変だっ
た。これが特養に入居するきっ
かけになったんだと思う。」
(昭和十二年生まれ八十一才女性)

「(改元は)テレビで見て知つて
いる。我孫子市へ嫁に来てから
六十年以上ここで暮らしてい
る。一番の出来事は、平成二十
六年頃、自宅で転んで骨折した
こと。初めての経験で大変だっ
た。これが特養に入居するきっ
かけになったんだと思う。」
(昭和十二年生まれ八十一才女性)

「(改元は)テレビで見て知つて
いる。我孫子市へ嫁に来てから
六十年以上ここで暮らしてい
る。一番の出来事は、平成二十
六年頃、自宅で転んで骨折した
こと。初めての経験で大変だっ
た。これが特養に入居するきっ
かけになったんだと思う。」
(昭和十二年生まれ八十一才女性)

「(改元は)テレビで見て知つて
いる。我孫子市へ嫁に来てから
六十年以上ここで暮らしてい
る。一番の出来事は、平成二十
六年頃、自宅で転んで骨折した
こと。初めての経験で大変だっ
た。これが特養に入居するきっ
かけになったんだと思う。」
(昭和十二年生まれ八十一才女性)

「(改元は)テレビで見て知つて
いる。我孫子市へ嫁に来てから
六十年以上ここで暮らしてい
る。一番の出来事は、平成二十
六年頃、自宅で転んで骨折した
こと。初めての経験で大変だっ
た。これが特養に入居するきっ
かけになったんだと思う。」
(昭和十二年生まれ八十一才女性)

「(改元は)テレビで見て知つて
いる。我孫子市へ嫁に来てから
六十年以上ここで暮らしてい
る。一番の出来事は、平成二十
六年頃、自宅で転んで骨折した
こと。初めての経験で大変だっ
た。これが特養に入居するきっ
かけになったんだと思う。」
(昭和十二年生まれ八十一才女性)

金井 雄司

アクトール生活相談員



【アコモードの「お祭り」～地域との交流の場にも～】

各事業所では、規模の大きな行事を、「～祭り」と称して、定期的に開催しています。そこで、平成30年の夏から冬にかけて行われたお祭り行事をご紹介します。ご利用者やそのご家族に楽しんでいただけたことや、地域の方々とのふれあいの場になるよう、今後も企画していきますので、皆さんぜひご参加ください。



ご家族等から未使用品を提供していただき、バザーも開催しています。



この日も真夏日でした。経口補水液の試飲場で熱中症対策を実施。



「呼魂太鼓」様の和太鼓。毎年お祭りのスタートを盛り上げてくださいます！



お祭りの最後は皆さんで盆踊りを。中央のやぐらの上ではキッズルームの子ども達が踊りました。



職員達によるフラダンス。この日の為に沢山練習を行ってきました。



遊戯コーナーはヨーヨー釣り、射的を。やっぱり子どもが集まります。

【アクイールの夏まつり】

特別養護老人ホームアクイールで、八月二十五日に五回目の夏まつりを開催。施設全体を日中開放し、ご入居者だけではなく地域の皆様にも参加していただきました。



ハロウィンの時期ということもあってお菓子が入った袋を落とすゲームを行いました。



外ではフランクフルトや焼き鳥が焼かれ、皆さんにふるまわれました。



十月十八日、同じ敷地内にある、高齢者のグループホーム「アンダンテ」と障害者のケアホーム「アヴァンセ」合同で開催されました。

【ふれあい祭り】



高齢者と障害者のご入居者が夕食を囲んで交流をしました。



地域の方々に施設を知つもらういい機会にもなりました。

【つつじ荘祭り】

十一月十二日、降っていた雨も始まる頃にはやみ、初めての催しを無事に開催することができました。老人福祉センター つつじ荘をもっと広く知ってもらおうと企画がスタート。ご利用者が認知症予防として作成したティッシュカバーや鉛筆立て、ブローチ等の作品を、展示・販売することになり、皆さんのがんばりをさらにアップしたとか。地域の方々にも沢山参加して頂きました。



▶ 大広間に
介護予防体操、宅配弁当や
試食等、様々なブースが。



ご利用者手作り作品展示・販売コーナーにて、作成者が集まって記念撮影。売り物は完売したそうです！写真にある「恩」の字は折り鶴を重ね合して作ったもので、「鶴の恩返し」にちなんで。鶴は毎日折っていて、毎年我孫子市で行われる「平和の祈り・千羽鶴展」に、去年は2万7千羽程寄贈しました！



我孫子市長からも挨拶をいただきました。高齢化に伴う福祉センターの重要性を語られ、皆さんからは賛同の声もきかれました。ちなみに後ろの看板も折り鶴で作成した物です。



◀ 楽しんでいる方も。
屋台ではお好み焼き、
けんちんうどん、
フランフルト等を販売。
テークアウト席ではビール片手に



▶ 音楽に合わせて皆さんで踊つたり、
職員の寸劇等で楽しんでいただきました。



お昼は特製カレー。デザートにはロールケーキタワーがでて歓声があがりました。

十一月十七日、毎年の終わりに、ご利用者やご家族、ボランティアさんや地域のケアマネージャーをお招きして、感謝の気持ちを伝える為に開催しています。皆さんでゲームをしたり、ディイ職員による喜劇等で会場は盛り上りました。



【アクイールデイサービス感謝祭】

【園児に食べる楽しみを～アンジェリカ保育園食育の取り組み～】



10月【おおきなかぼちゃ】

「おおきなかぼ」のハロウィンバージョンの絵本。当日は先生達が登場キャラクターに扮装し、絵本の内容を演じました。

怖い恰好に泣き出す子もいましたが、最後はかぼちゃパイを食べてニッコリ。



お楽しみに！

ユーは栄養士と相談し、事前の読み聞かせや、当日の演劇等で園児の興味をひいておくのがポイント。仮想世界の食べ物が目の前に現れた時の驚き、楽しさは特別です。園児からは、「次は～の～が食べたい」とリクエストがでたり、保護者の方々からも好評をいただいているので、今後も企画していく予定です。



7月

【うちにかえったガラコ】

絵本の中にでてきた「ガラコのカレーを完全再現！」みんなからは「すごい！」「うわああ！」と感動の声があがりました。

おかげりする子もたくさんいて、栄養士と先生達もうれしい気持ちになりました。



平成30年10月31日、ハロウィンパーティーでの1枚。アメリカで初めて行った大きな催しです。

障害者の生活施設であるアメリカは、平成三十年四月に開設してから、今年の一月で十ヶ月が経ちました。ご入居者も徐々に増え、夕食時には賑やかな毎日を送っています。始めの頃は、新しい生活環境に慣れない為か、緊張し遠慮がちなご入居者。慣れてくるとそれぞれの生活リズムができる、思いを伝えてくれるように。同時に、職員も一人ひとりの性格を理解できることになりました。ご家族のなかには、淋しい思いや心配されている方もいらっしゃると思いますが、皆さん前向きで元気に過ごしていますので、安心ください。

【ケアホーム アメリカ ～皆さん元気です～】

【自然災害への備え】



大阪府北部地震、七月の西日本豪雨、台風二十一号、北海道胆振東部地震…、「今年の漢字」でも『災』が選ばれるほど、平成三十年は、相次ぐ災害で大きな被害がでた年でした。

高齢者の入居施設である特養ホームでは、いつ何時訪れるか分からぬ災害時の備えとして、食料等の備蓄や、定期的な防災訓練を実施しています。また、法人全体の防災計画は、地震、火災に加え、風水害を想定したものになっています。写真は、昨年アコモードで行われた避難訓練の様子ですが、ご入居者の身体状況を把握して、適切な方法で誘導することが必要だと、職員も訓練を振り返りながら学んでいます。



訓練用の消火器を使った初期消火の練習。

移動スピードや寄り添う位置に注意をしがら、慌てずにスロープを降りていきます。

【特別な日に贈り物を～敬老の日・誕生日～】



アコモード特養で毎月行われている誕生会。職員からのお祝いメッセージボードを手にとり微笑むご入居者。喜んでいただけます。

各施設では、行事や誕生日等、特別な日に職員手作りのカードや色紙をお渡ししています。ご入居者の思い出のひとつとして形にのこりますし、施設での生活に温もりを感じていただけるきっかけになれば、という願いを込めて、創作の苦手な職員も励んでいます。



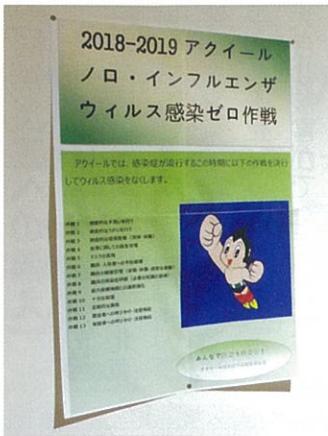
アクイール多床室では、年初めに、ご入居者全員に年賀状をお渡ししています。パソコンで同じものを作るのではなく、職員で手作りしています。



敬老祝賀パーティで祝賀の方にお渡ししている色紙。

施設では毎日、介護職員がご入居者と深く関わり、生活のお手伝いをさせていただいています。その内容の中で多くを占めるのは、食事や入浴、排せつ、といったような身体的介護ですが、生活の質(QOL)・クオリティオブライフ（QOL）の向上を目指すうえで、コミュニケーションやアクティビティ等も重要なだと考えています。

【感染症に注意！予防が大切です】



手洗い、うがい、マスク着用、予防接種をするなど、加湿や換気をすること等、実施することを表記し掲示しています。

皆様もご面会で来所される際には、事前のうがい手洗い、マスクの着用のご協力をお願い致します。

例年、冬季にはインフルエンザやノロウイルス等の感染症が流行します。冬は低温・空気の乾燥で、ウイルスや細菌にとっては最適な環境なのに對し、人の免疫力は低下するからです。子どもや高齢者は重症化する命にかかることがあるので、発症しないよう予防することが大切。また、特養ホーム等の施設では、多くのご入居者がひとつ建物内で生活する)ことから、集団感染のリスクが高くなります。外部から菌を持ち込まないことが重要になるので、職員の体調管理を徹底することや、うがい手洗い等の予防対策が書かれたものを各フロアに掲示し、意識づけるようにしています。

昨年は高校野球で、地元の中央学院高校が大活躍をした年でもありました。野球部の皆さん、春夏連続、そして夏の甲子園初出場、

あとがき



本当におめでとうございます！
惜しくも一回戦で敗れてしまいま
したが、手に汗握る激闘でしたよ
ね。もう半年以上たったというの
に、思い出すとまだ興奮してしま
います。この結果をつかみとるま
で、大変な努力を積み重ねてきた

冬に嘔吐があった場合には、感染症を疑い、他者への感染を防ぐための処理をマニュアルに沿って行います。迅速に対応できるよう、必要な物品はケースに入れ各部署に設置。



【資格取得者】

◆介護福祉士

・中本 美穂さん

(グループホームアンダンテ)

「仕事をしながら頑張つて勉強したので合格できて嬉しいです。」

・石井 誠啓さん

(訪問介護員)

「まだ一歩ふみだしたばかりです。これからもっと頑張つていきます。」

◆保育士

・渡邊 豊さん

(特別養護老人ホームアクイール施設長)

「昨年からは介護福祉士や社会福祉士の資格を持つていて免除科目ができました。実技試験は緊張しましたが、皆さんもチャレンジしてみてはいかがでしょうか？ 託児所の子どもたちと触れあうと心が洗われます。」

のでしょう。ふと、野球部の皆さん の健闘を見ていて思つたことは、 「自分は今、努力しているだろうか。」ということ。ただ漫然と仕事をこなすのではなく、先を見据えながら目標をもつて取り組まなくては！



清水未来さん
(アコモード)
第2子
椋牙くん



黒澤由香里さん
(アコモード)
第2子
遥稀くん



西堀秀高さん
(アクイール 多床室)
第2子
きこちゃん



脇山真紀さん
(アクイール ユニット)
第3子
捺那(なつな)ちゃん

